

	項目	委員からの質問・意見・提案等	協議会での回答	その後の対応	担当
<b>議題1 平成30年度の博物館の運営状況について</b> <b>議題2 新琵琶湖博物館創造基本計画にかかる行動計画について</b>					
1	教員用ガイド	短い時間で効果的な学習をさせたいので、今回提案いただいたガイドは大変ありがたい。ガイドを学校に周知する効果的な方法を検討いただきたい。	—	—	交流
2		カリキュラムに合わせて、学校のオリジナル、強化に合わせてとか総合的な学習の中とかいろいろな場面で使わせていただきたい。	—	—	交流
3		アンケートはどのような先生が参加される協議会で、行われたのか。	中学校では環境教育担当の先生が中心。小学校はいろいろな教科の担当の先生。参加された先生は、採用5～6年目の若い先生と20年以上のベテランの先生が多く参加された。	—	交流
4		子供達が博物館へ来て、琵琶湖を好きになってもらうようなワークシートを作ってもらいたい	—	—	交流
5		その時限りではなく、何度でも、もう一度来たいと思わせるようなシートに進化していただきたい。	—	—	交流
6		学校の生徒だけではなく、子ども会や個人での利用もできるのか。	現在のサポートシートもHPからダウンロードできるようになっている。新しいものも同じようにしていく。	—	交流
7		シートを持って館内を回った後で、ディスカバリールームに答えがあるというのうれしい。	—	—	交流
8		全員がHPを見て来館するわけではないので、各展示室の入り口などにシートを置いておいてもらえると嬉しい	—	サポートシートはリニューアルに対応したものを今後作成していきます。利用の方法については、グランドオープンに併せて検討します。	交流
9		シートの内容、字句の誤り等	修正します	—	交流

	項目	委員からの質問・意見・提案等	協議会での回答	その後の対応	担当
10	国際交流	洛東江だけではなく、もう少し広い地域と比較研究するようにしたらどうか	東アジア地域の淡水生物の系統進化という広い視野から、韓国と日本との比較研究が非常に重要と考えて研究を進めている。その中で、中国大陸の魚類との比較研究や、日本海沿岸や太平洋沿岸も含めたテナガエビの研究も行っている。	—	研究
11		台湾との連携は	来年度の企画展でサケマス類を扱うので、台湾のタイワンマスなども紹介する。	—	研究
12		要旨集に地図や場所の説明があればよい。	今回は研究者の中での報告会を実施した、もう少し研究が進めば、一般の方等にもお披露目できるようにしたい。	—	研究
議題4 第3期リニューアルについて					
13	龍について	なぜ龍なのか	琵琶湖が龍宮だったとか、各地での雨乞いで龍が登場するとか、滋賀県でも龍伝説は多い。自然の象徴として龍が登場する。今回の展示では、龍を案内人として、展示を説明していく。なぜ龍を取り上げるのかについては、パネルで紹介していく。	—	創造室
14		自然をかいならすとは	人間が都合の良い自然を作っていたということを紹介したい。	—	創造室
15		琵琶湖にも龍がたくさんいる。川の中にもいる。琵琶湖だけではなく、周辺の川にも龍がいることを展示すべきでは。	解説パネルの中で、紹介していきたい。	—	創造室
16		滋賀の伝説を披露するのも展示の一つではないか。龍の伝説という展示もあるのか。			
17		ドラゴンを思いうかべる。龍とは自然現象のことでは。	日野町にある高田敬輔が描いた龍をモデルとして製作する。	—	創造室
18	マチカネワニ	マチカネワニの全身復元模型とは。	古琵琶湖から出土しているのは、体長が2メートルくらいのもので、それを復元します。	—	創造室
19		古琵琶湖の時代の日本と大陸のつながりがわかるような展示はないのか。	まだ研究が進んでいないので、難しい。	—	創造室

	項目	委員からの質問・意見・提案等	協議会での回答	その後の対応	担当
20	B展示室リニューアル	殺生をめぐる展示を辞めた理由は。	今回は人間の心のあり方次第で、いかに人間が自然を利用しつくそうとしてきたのかの展示を行う。	—	創造室
21		ICTを利用するとはどういうことか。	アプリを使ってダウンロードして見ていただくか、タブレットをお貸しして体験してもらう。	—	創造室
22		「人を結ぶ」の中に「宮座」の話があるが、ここで紹介されている話だけではなく、ほかにもあるように思うが。	ある特定の村を想定して現在実施設計を行っている。 他にも宮座についても、解説もする予定。	—	創造室
23		村をまもるといふ展示の中で、祭りのことがふれられていないように思うが。	祭りの展示についても、展示の中で紹介する準備を進めている。	—	創造室
24		B展示室からC展示室へどうやってつなげるのか。	B展示室は歴史の展示室ですが、過去の話ではない。ここから現在につながっており、C展示室へとつなげていく。 担当学芸員の想いのパネルが展示される予定。 過去→現在	—	創造室
その他					
25	資料の保存	防災の観点から、資料の保存をどう考えているのか。	—	現在、危機管理・業務継続計画の策定を進めており、その中で、博物館の資料の保存について整理している。	事業部